

II 救急概況

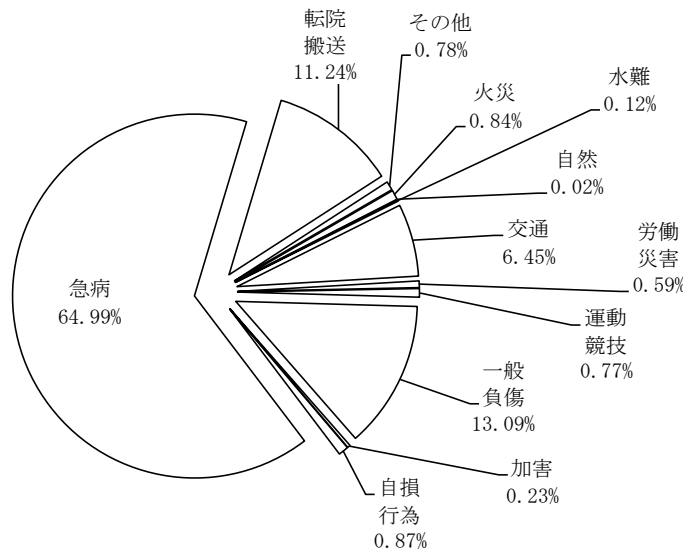
(2019年 1月～6月)

1 救急出動状況、救急搬送状況

2019年上半期の救急出動件数及び救急搬送人員は、それぞれ5,613件、5,211人であり、前年同期と比べて救急出動件数は85件(1.5%)の減少、救急搬送人員は117人(2.2%)の減少となりました。

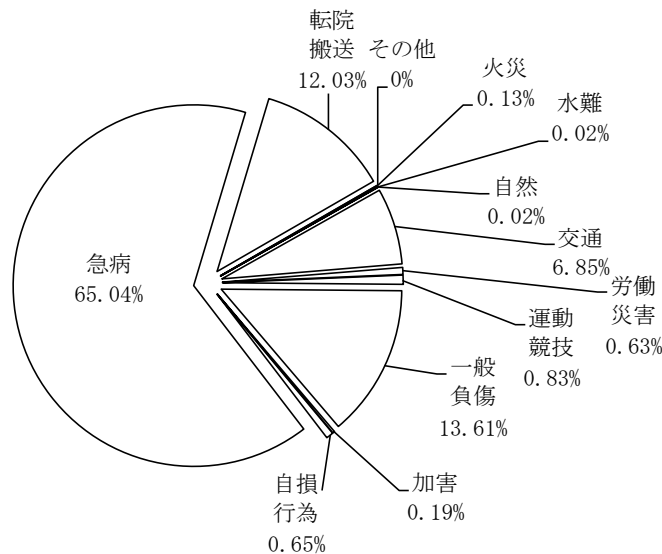
(図II-1、II-2、II-3参照)

図II-1 事故種別救急出動状況



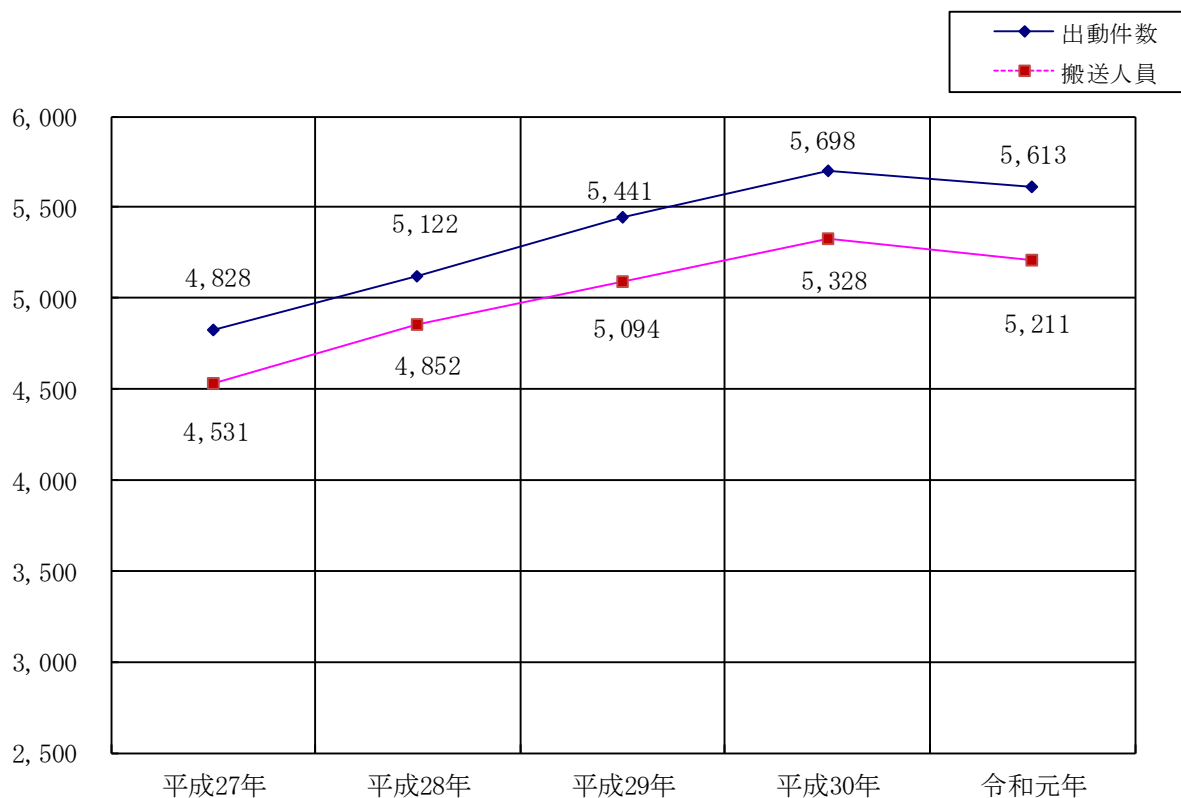
| 事故種別 | 火災 | 自然 | 水難 | 交通 | 労働災害 | 運動競技 | 一般負傷 | 加害 | 自損行為 | 急病 | 転院搬送 | その他 | 計 |
|------|----|----|----|-----|------|------|------|----|------|-------|------|-----|-------|
| 出場件数 | 47 | 1 | 7 | 362 | 33 | 43 | 735 | 13 | 49 | 3,648 | 631 | 44 | 5,613 |

図II-2 事故種別救急搬送状況



| 事故種別 | 火災 | 自然 | 水難 | 交通 | 労働災害 | 運動競技 | 一般負傷 | 加害 | 自損行為 | 急病 | 転院搬送 | その他 | 計 |
|------|----|----|----|-----|------|------|------|----|------|-------|------|-----|-------|
| 搬送人員 | 7 | 1 | 1 | 357 | 33 | 43 | 709 | 10 | 34 | 3,389 | 627 | 0 | 5,211 |

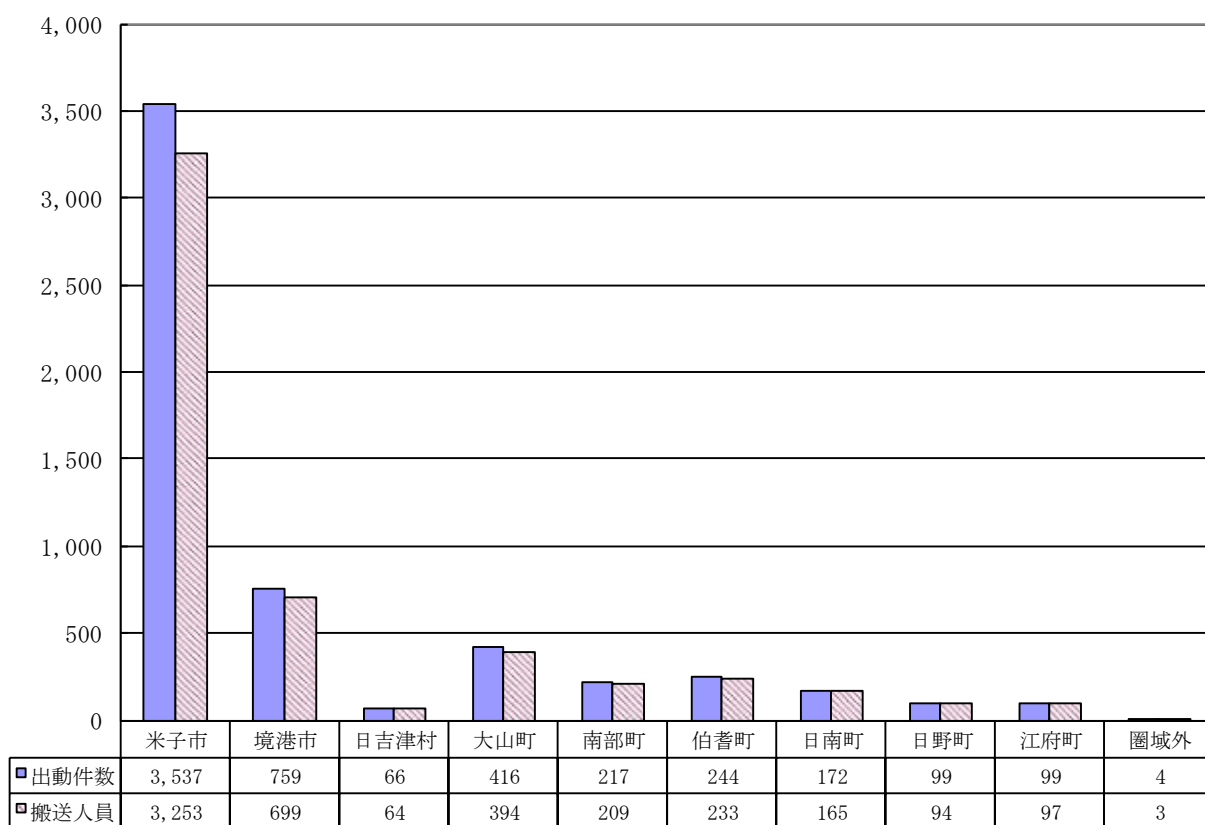
図Ⅱ－３ 過去５年間の救急推移



2 市町村別救急活動状況

市町村別では、米子市の救急出動件数及び救急搬送人員がそれぞれ3,537件(63.0%)、3,253人(62.4%)と6割以上を占めています。(図Ⅱ－4参照)

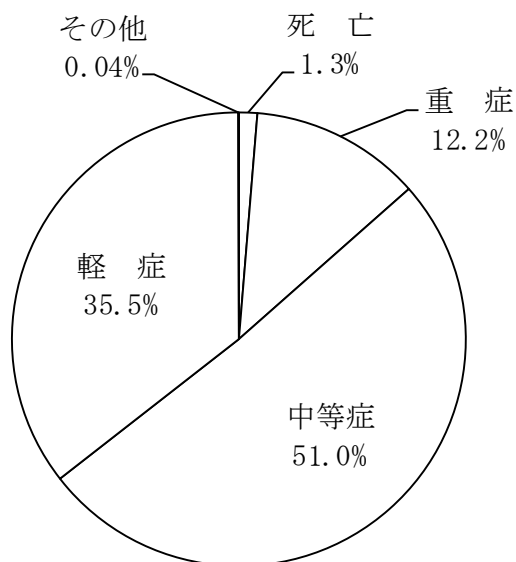
図Ⅱ－４ 市町村別救急活動状況



3 傷病程度別搬送状況

傷病程度別の搬送人員を見ると、中等症が2,657人(51.0%)で最も多く、次いで軽症が1,850人(35.5%)、重症634人(12.2%)、死亡68人(1.3%)となっています。(図Ⅱ-5参照)

図Ⅱ-5 傷病程度別搬送状況

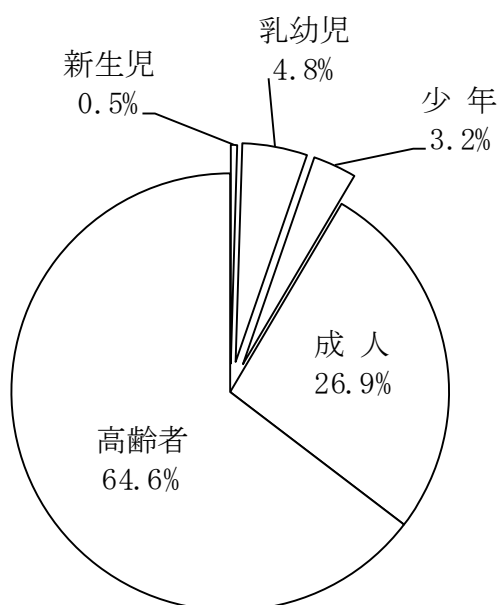


| 程 度 | 死 亡 | 重 症 | 中等症 | 軽 症 | そ の 他 | 合 計 |
|------|-----|-----|-------|-------|-------|-------|
| 搬送人員 | 68 | 634 | 2,657 | 1,850 | 2 | 5,211 |

4 年齢別搬送状況

年齢別の搬送人員のうち、65歳以上の高齢者は3,367人(64.6%)で搬送人員の6割以上を占めています。(図Ⅱ-6参照)

図Ⅱ-6 年齢別搬送状況

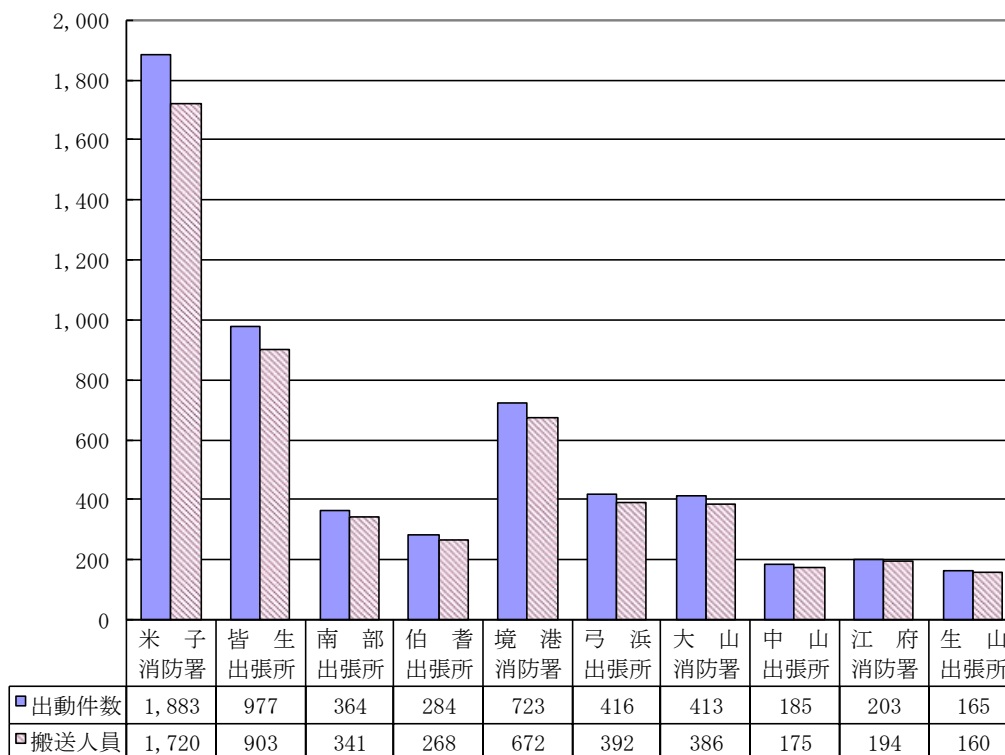


| | 新生児 | 乳幼児 | 少年 | 成人 | 高齢者 | 合計 |
|------|-----|-----|-----|-------|-------|-------|
| 搬送人員 | 25 | 250 | 168 | 1,401 | 3,367 | 5,211 |

5 署所別救急活動状況

署所別の救急出動件数、救急搬送人員ともに米子市を管轄する米子消防署が（1, 883件、1, 720人）、皆生出張所が（977件、903人）で全救急出場の半数以上を占めています。（図Ⅱ－7参照）

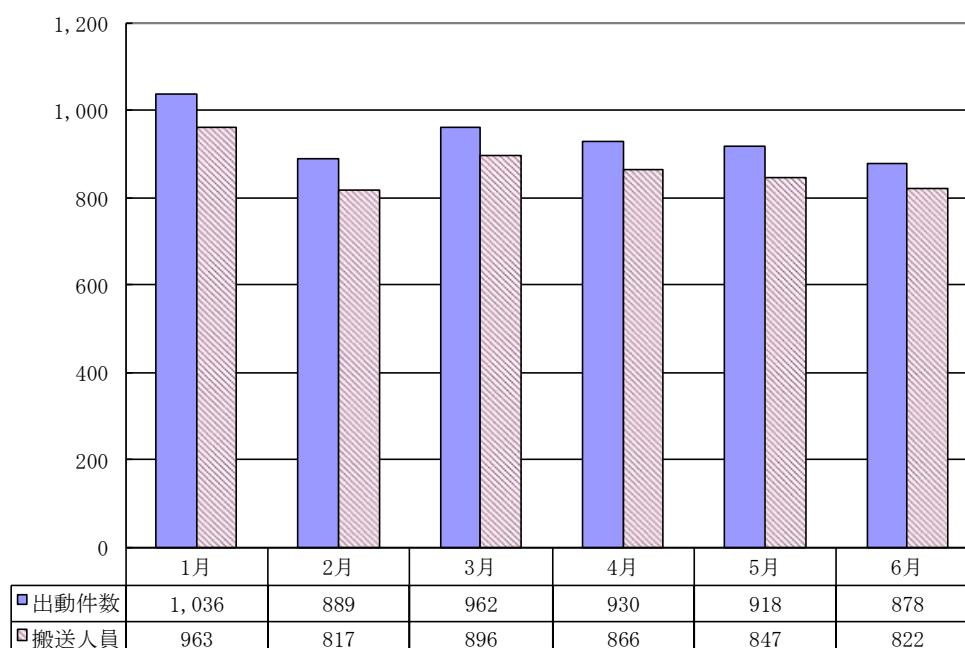
図Ⅱ－7 署所別救急活動状況



6 月別救急活動状況

月別の救急出動件数を見ると、1月の1, 036件（18.5%）が最も多く、次いで3月、4月の順となっています。（図Ⅱ－8参照）

図Ⅱ－8 月別救急活動状況

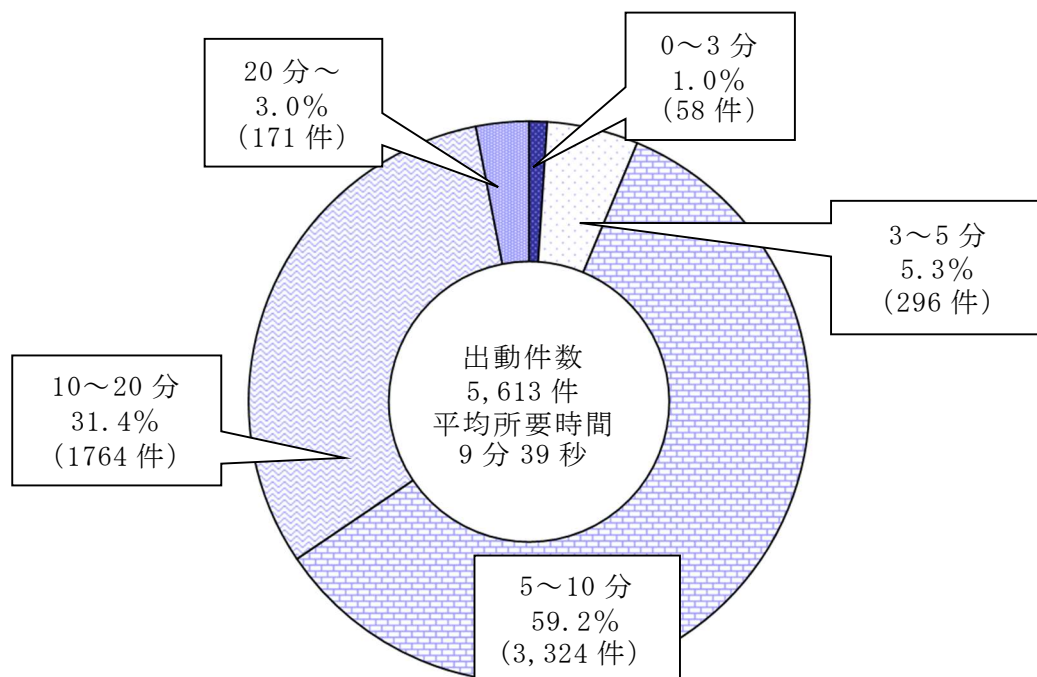


7 現場到着所要時間、収容所要時間

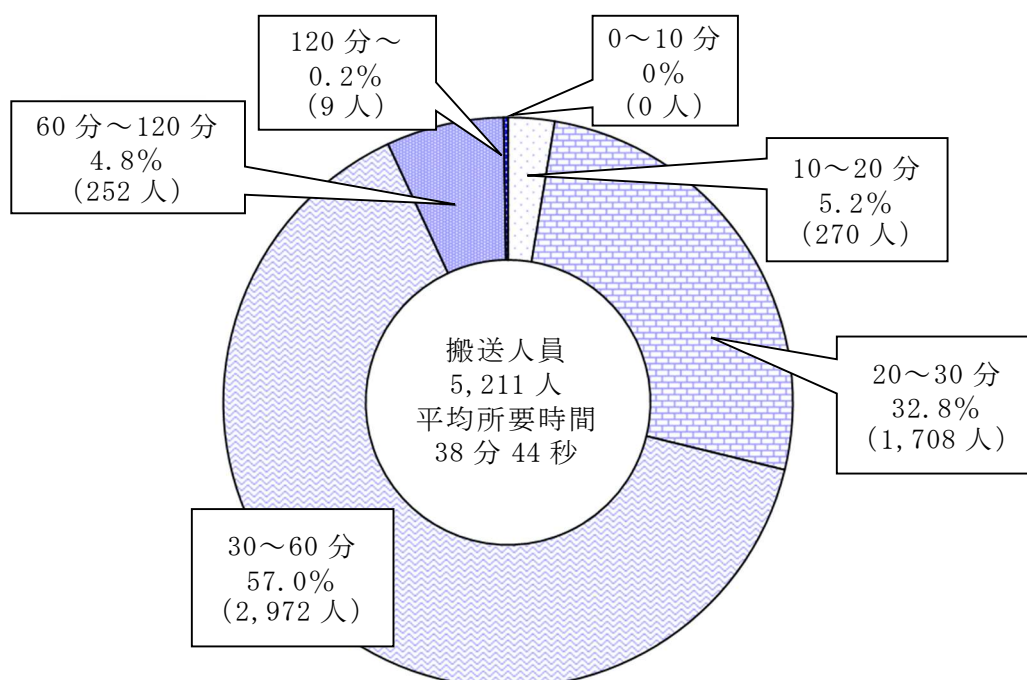
平均現場到着所要時間は9分39秒、平均収容所要時間は38分44秒であり、前年同期と比べて平均現場到着所要時間は1分18秒増加、平均収容所要時間は40秒増加となりました。

各所要時間の延長は、覚知時間が119通報の受付時分に変更されたことによるものです。
(別図Ⅱ-9、Ⅱ-10参照)

図Ⅱ-9 現場到着所要時間



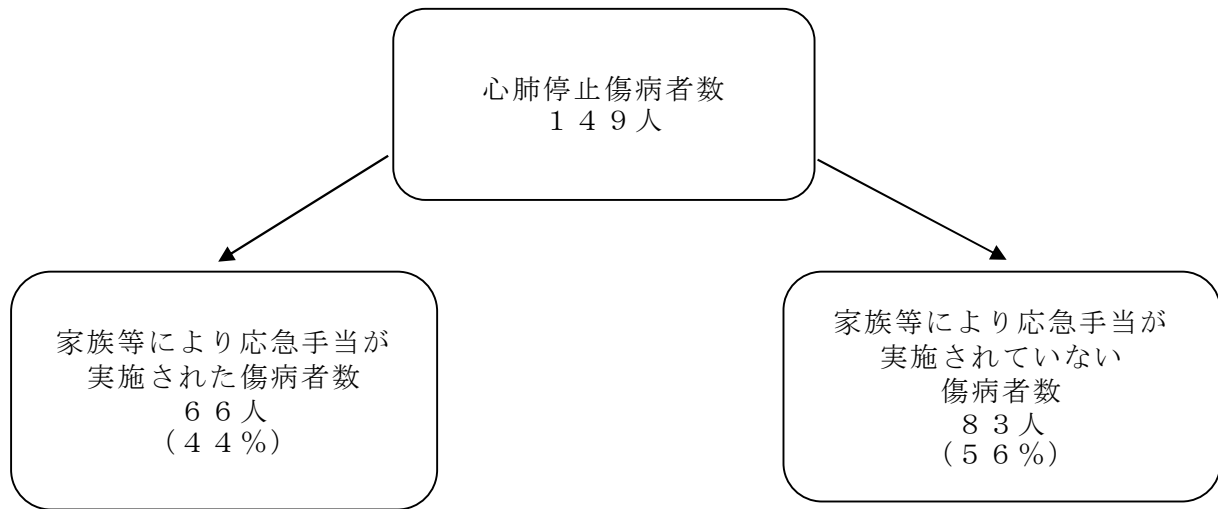
図Ⅱ-10 収容所要時間



8 応急手当実施状況

家族等により応急手当が実施された件数は66人（44.3％）となり、昨年より2％減少しました。（図Ⅱ－11参照）

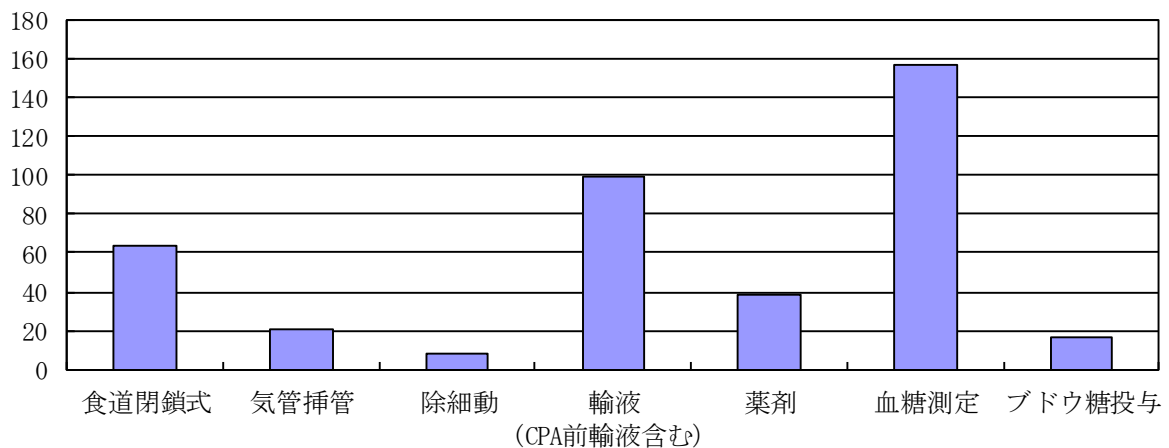
図Ⅱ－11 応急手当実施状況



9 高度救命処置件数

救急救命処置項目の拡大、認定救急救命士の増加により、高度救命処置件数は増加しています。（図Ⅱ－12参照）

図Ⅱ－12 高度救命処置件数



| 処置項目 | 食道閉鎖式 | 気管挿管 | 除細動 | 輸液 (CPA前輸液含む) | 薬剤 | 血糖測定 | ブドウ糖投与 |
|------|-------|------|-----|------------------|----|------|--------|
| 実施件数 | 64 | 21 | 8 | 99 | 39 | 157 | 17 |

10 医師引継ぎ時の状況

心肺停止傷病者149人のうち、救急車で搬送中に26の方が循環機能回復、6の方が呼吸循環機能回復、3の方が意識回復まで至りました。
(図Ⅱ-13参照)

図Ⅱ-13 医師引き継ぎ時の状況

